

2008年の株式会社化以降の4回にわたる中期経営計画の遂行を通じて、DBJグループは「投融資一体」に向けたリスクマネー供給の強化とリスク管理機能の高度化を進めてきました。2021年5月には、民間金融機関等との連携・協働のもと、リスクマネーやナレッジを活用してお客様の課題解決を通じた持続的成長へ貢献すべく、5カ年の行動計画として「第5次中期経営計画」を策定しました。さらに、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響からの回復や外部環境の大きな変化を受け、中計期間残り3年間で特に強化するポイントを示すため、2023年5月に「第5次中期経営計画 強化・見直し」を公表しました。

第5次中期経営計画「つなぐ、共につくる」

2021 ————— 2022 —————

当初2年間の主な成果・取組

■ 新型コロナウイルス感染症に関する 危機対応業務

他金融機関と連携しつつ、危機対応業務に注力し、顧客企業のコロナ禍からの回復・成長をサポート

2023年3月までに **約2.5兆円**の資金を供給

■ GRIT戦略*

持続可能な社会の実現に向けたお客様の取組をサポートするため、5年間で累計5.5兆円のGRIT関連投融資を計画し、順調に積み上げ

2023年3月までのGRIT関連投融資額 **約2.1兆円**

* GRIT戦略：持続可能な社会の実現に向けた投融資戦略

G Green **R** Resilience & Recovery
I Innovation **T** Transition / Transformation

第5次中期経営計画 強化・見直し

マテリアリティの再整理

2023 ————— 2024 ————— 2025 —————→

外部環境の現状認識

リスクの高まり

マクロ経済環境の変化 金利上昇、円安トレンド継続
地政学リスクの高まり ロシアによるウクライナへの侵攻、中東情勢の緊張の高まり
経済的不確実性の高まり マイナス金利政策解除
人口減少の加速化 人手不足の深刻化、省人化投資、生産性向上

新たな潮流

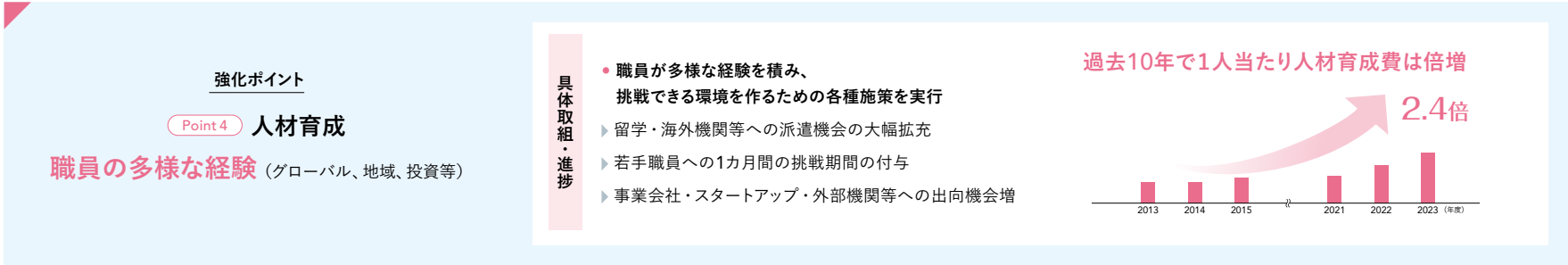
脱炭素に向けたGXの加速 GX基本方針（2030年150兆円のGX投資）
スタートアップへの期待 スタートアップ育成5カ年計画（2027年10兆円規模）
人的投資の強化 労働生産性向上、労働市場の流動化
グローバルサプライチェーン再構築 重要物資の供給力強化

外部環境の変化を受け、第5次中計の骨格は維持しつつ、**4つの取組を強化**

4つの強化ポイントと2023年度取組概要

- Point 1** **リスクマネー供給**
 - 投資業務強化（インダストリー分野への専任チーム創設等）
- Point 2** **新事業創出**
 - スタートアップへの投資強化
 - 顧客発の新事業へのサポート
- Point 3** **地域×トランジション**
 - 地域の脱炭素ビジョンの提示
 - 顧客エンゲージメント強化
- Point 4** **人材育成**
 - 変化対応力を有する人材の育成

“つなぐ”機能を
グループ一体で発揮・強化し、
マテリアリティを念頭に更なる
継続的・創造的な挑戦を実施



財務目標(連結)

	収益性						健全性
	業務粗利益*1	親会社株主に 帰属する当期純利益	経費率*2	総資産	ROA*2	ROE*2	自己資本比率*3 (パーゼル田最終化完全適用ベース)
第5次中計2025年度目標 (見直し後)	2,100億円程度	850億円程度	34%程度	21兆円程度	1%程度	3%程度	14%程度

*1 経営管理上の実態業務粗利益 (クレジットコストを除く) *2 経費率、ROAは業務粗利益比。ROEは当期純利益比 *3 普通株式等Tier1比率